



創立一三八周年を終えて

同窓会会長

中村 ひでの

函商同窓生の皆様におかれましては、日頃より函商同窓会活動に對しまして、特段のご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

今年度の創立138周年記

念函商同窓会総会・懇親会が7月21日(日)、プレミアホテル―CABIN―函館で開催されました。総会の参加が少なく、同窓の皆さまには、同期会の結成をお願いしているところであります。特に、若い期の結成が少なく、また、年齢に関係なく同期会を解散する期も多く、近年の総会の参加にも影響が出ております。参加を促す対策に取り組んでおりますが、なかなか成果が得られない状況です。

したが、3年間の会議等の集まりが規制された影響は、函商同窓会本部の役員体制にも影響が出ております。今年度は、少人数体制となりました。会報『五稜ヶ丘』第67号も、編集担当期制ができないため、同窓会本部役員が6月から月1回のペースで集まり寄稿原稿・広告原稿の編集校正を行いました。会報の発行を継続するため、ネット社会の中での発行を模索し、会報『五稜ヶ丘』を次の世代に繋げるよう、努めてまいります。今後とも、同窓会員の皆様からのご寄稿、広告協賛へのご協力をお願いいたします。

業で植栽いたしました。2、3年は美しく咲きましたが、残念ながら根付きが良くないため、別の花を数年かけ試みました。しかし、同じく結果が良くないことから、植栽跡地の函商ランド側の桐花通りに、函商創立140周年に向け、「函館商業高等学校の歩み」とした、長さ12メートルの看板設置に代えることといたしました。

昨今の少子高齢化の進行、また、高校の再編成等函館商業高等学校を取り巻く環境には厳しさを感じるところです。母校、函館商業高等学校は、このような現状の中、道内トップレベルの成績を上げており、「HAKOSHOP」の商品開発において、青

等学校創立140周年記念事業協賛会設立総会が開催されました。

役員の構成は、130周年の事業内容を参考に、学校、PTA、同窓会、更には経験された諸先輩の方々をお願いし、記念式典、記念事業、記念誌作成等、140周年に向けて動き出しました。具体的な内容等については、これから検討されていくことになります。内容が固まり次第、本部総会、常任幹事会や各支部の総会等、また、同期会を通して本部よりお願いをするところもあると思いますので、どうぞお力添えをよろしくお願いいたします。

終わりに、函商の歴史と伝統を、後世につないでいくと共に、輝く母校の益々の発展と、全国各地で活躍されていきます同窓会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、ご挨拶といたします。

令和2年2月からの新型コロナ感染症は、5類になりました。